

# 奈良県十津川村の歴史資料調査と報告会

有賀 陽平

## 1. 十津川村村史編さん事業

文化情報学ゼミでは、2017年度から、奈良県十津川村の村史編さん事業の一環として主に、十津川村に伝来している古文書をはじめとした、歴史資料の調査と整理を行っている。この村史編さんには、歴史部会近世史担当として、東昇准教授（歴史編部会長）、水谷友紀学術研究員（専門調査員）が参加している。

現地では、十津川村教育委員会事務局藤重季恵学芸員の協力の下、第1回2017年9月25～28日、第2回2018年1月30日～2月1日の2回、計7日間にわたり、文化情報学・日本史ゼミ所属の学生・院生が参加し、主に近世近代文書の撮影を中心とした調査を行った。また、当ゼミ東昇准教授による村民向けの成果報告会も開催された（写真1）。また京都府立大学内においては、画像による文書目録作成、十津川村歴史資料館所蔵「十津川宝蔵文書」、「玉置神社資料」のマイクロフィルムをデジタルデータへ変換する作業も行っている。

## 2. 調査参加者

### ・第1回調査

東昇（教員）、福間優華・水野拓也（4回生）、有賀陽平・疋田彩花（3回生）

### ・第2回調査

東昇（教員）、松浦智博（博士後期1回生）、福間優華・水野拓也・藪内衿子（4回生）  
有賀陽平・廣瀬友佳（3回生）

## 3. 十津川村での資料整理

2017年度の調査では、文書の撮影が主な活動内容であった。第1回調査では、個人所蔵文書を中心に780点、第2回調査では、区有文書744点を撮影することができた（写真2）。写真撮影に際しては、付箋で各文書に通し番号をつけ、全体数の把握も並行して行った。絵図は、全体写真を撮影した後、区画ごと細分化した撮影も行い、現在の地図と比較した。継目の剥離など損傷の激しいものに関しては、今後の修復も必要であるという点も明らかとなった。

第2回の調査では、旧村役場跡の巡見（写真3）や、小森地区公民館から文書を搬出する作業なども行った（写真4）。搬出作業の際は、保管状況の把握のため、配置などを細かく写真に収めるよう配慮した。

また第1回調査中の2017年9月26日には、道の駅「十津川郷」において、十津川村村史編さん委員会第1回途中成果報告会を開催した。報告会では、東昇准教授が「村の古文書を読んでみようー大坂の陣と十津川」と題して、7月の事前調査で確認した文書を紹介し、古文

書の読み方、十津川の大坂の陣に関する由緒の変化について講演した。



写真1 第1回成果報告会



写真2 文書撮影風景



写真3 旧役場跡



写真4 小森地区